



マルト便

MARUTO INFORMATION

お客様の笑顔のために ... チャレンジ!

maruto-shoji.co.jp

ホームページにバックナンバー掲載中



🍁 ごあいさつ

皆さま、こんにちは。

はじめに、7月28日に発生した令和8年熊本地震、ならびに8月13日から14日にかけて千葉県を襲った「令和8年8月千葉豪雨」により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

自然災害は、私たちのすぐそばにあり、決して他人事ではないことを強く実感します。会社としても、個人としても、災害への備えを怠らない。そんな心構えが必要なのだと思います。9月1日は「防災の日」です。この機会に、改めて身の回りの「備え」を見直してみたいはいかがでしょうか。

9月に入り、暦の上では秋を迎えますが、まだ厳しい残暑が続く時期です。北海道では玉ねぎの収穫・出荷が本格化し、令和8年産の作柄が明らかになる重要な局面を迎えています。今月号も「玉ねぎ」の動向を中心に、9月の野菜市況の見通しをお届けいたします。

🍎 国産玉ねぎの状況と9月の見通し

府県産の玉ねぎ出荷がひと段落し、お盆明けから北海道産の出荷が本格化してきました。農林水産省の9月見通しによると、北海道産は生育が概ね順調で、大玉傾向となっています。9月の出荷数量は平年を上回り、価格は平年を下回って推移する見込みです。

昨年は高温と干ばつの影響により大幅な減収・小玉傾向となり、全国的な品不足と価格高騰が続きました。それに対して今年は、春先から定植作業が順調に進み、生育期間を十分に確保できたことに加え、適度な降雨にも恵まれました。現時点では、昨年を大幅に上回る収穫・出荷が期待できる状況です。

一方で、供給量が大きく増える局面では、相場下落だけでなく、収穫した玉ねぎをどのように計画的に出荷し、需要につなげていくかが重要な課題となります。玉ねぎは価格が下がったからといって、短期間で消費量が大幅に増える商品ではありません。豊作を安定供給につなげるためには、生食用・加工業務用・輸出など、それぞれの需要に応じた販売と、年間を通じた出荷の平準化が必要です。当社としても、産地の皆様が大切に育てた玉ねぎを無駄なく需要先へつなぎ、お客様には品質・数量・価格のバランスが取れたご提案ができるよう、調達と販売の両面から取り組んでまいります。

🌐 輸入玉ねぎの動き

中国産については、山東省産から甘粛省産への切り替え時期を迎えます。甘粛省産は昨年の相場安を受けて作付面積が減少傾向にあるものの、現時点では生育は概ね順調と聞いています。価格は若干上昇傾向にありますが、今後は北海道産玉ねぎの相場動向にも影響されるものと思います。また、9月後半から入荷が見込まれるアメリカ産についても、北海道産との価格差や為替、関税などの影響から、日本向けの入荷量は限定的になる可能性があります。

当社では、国産・輸入それぞれの特長を見極めながら、お客様の用途・品質・コストに応じた最適な原料をご提案してまいります。

🚜 北海道産地情報

北海道では各産地で収穫作業が本格化しています。現時点では大玉傾向の圃場が多く、昨年のような極端な供給不足を心配する状況ではありません。

8月19日には、富良野地区の玉ねぎ圃場を視察してまいりました。いずれの品種も肥大は順調に進んでおり、収量面で大きな懸念はないように感じました。極早生品種については、収穫時期に比較的雨が多かったことから、一部で品質面への懸念が残ります。一方、年内の主力となる「オホーツク222」並びに年明けの主力「北もみじ2000」については、L大を中心とした良好な規格比率になるものと見ています。収穫量に大きな問題はないと考えていますが、今後は鱗片腐敗などの病害発生に注意が必要だと感じています。

豊作が確定するのは、収穫を終え、選果・倉入れが進んでからです。今後も産地へ足を運び、生育・収穫・品質・出荷の状況を確認しながら、皆様へタイムリーな情報をお届けしてまいります。

🍅 青果物市況（農水省・令和8年9月見通し）

農林水産省の9月見通しによると、全体としては、きゅうり・トマトの価格が9月前半にやや平年を上回る一方、ばれいしょ・たまねぎ・レタスなどは平年を下回って推移する見込みです。

■ 相場が弱含み（安値傾向）となる見込みの品目

- ・たまねぎ：北海道産は生育順調で大玉傾向。出荷数量は平年を上回り、価格は平年を下回る見込み
- ・ばれいしょ：北海道産は生育順調で大玉傾向。出荷数量は平年を上回り、価格は平年を下回る見込み
- ・レタス：長野県産の出荷増により、出荷数量は平年を上回り、価格は平年を下回る見込み
- ・にんじん：9月前半は出荷増で平年を下回り、後半は平年並みに戻る見込み

《裏面に続く》

■ 相場が強含み（高値傾向）となる見込みの品目

- ・きゅうり：東北産の日照不足や低温の影響により、前半は出荷量がやや少なく、価格はやや平年を上回る見込み。後半は平年並み
- ・トマト：日照不足や着果不良の影響から、前半は価格がやや平年を上回る見込み。後半は平年並み

■ 平年並みで推移する見込みの品目

- ・だいこん、はくさい、キャベツ、ほうれんそう、ねぎ、ブロッコリー、なす、ピーマン、さといもは、概ね平年並みで推移する見込み

📊 9月の総評

9月は、北海道産の玉ねぎ・ばれいしょが潤沢に出回り、土物類の価格が落ち着く一方で、きゅうり・トマトなど一部の果菜類は天候の影響により前半を中心に強含む見通しです。

特に玉ねぎは、昨年の品不足・高値から一転し、供給増・価格調整の局面へ移ります。消費者や実需者にとっては調達しやすい環境となる一方、産地にとっては適正な価格を維持しながら数量を販売していくことが課題となります。

当社では、目先の価格だけではなく、産地の持続可能性とお客様への安定供給の双方を大切に、長期的な視点で需給調整と販売提案に取り組んでまいります。

📖 編集後記

7月末の熊本地震に続き、8月には千葉県で記録的な豪雨が発生しました。熊本は日頃から大変お世話になっている地域であり、千葉県も首都圏を支える重要な農業県です。相次ぐ災害の報に触れ、自然の力の大きさと、日常が決して当たり前ではないことを改めて感じました。農業は自然とともにある産業です。豊作の年もあれば、不作の年もあります。昨年の北海道玉ねぎは記録的な不作となり、今年は一転して豊作が期待されています。しかし、豊作になればすべてが解決するわけではありません。数量が増えれば価格は下がり、販売先の確保や保管、計画出荷といった別の課題が生れます。

大切なのは、豊作・不作のどちらか一方だけを見るのではなく、産地と需要先が互いの事情を理解し、長く続けられる関係を築くことだと考えています。産地が安心して生産を続けられ、お客様が必要な商品を安定して使用できる環境をつくるのが、私たちマルト商事の役割です。被災された地域の日も早い復旧・復興を願うとともに、私たち自身も目の前の仕事を一つひとつ丁寧に積み重ねてまいります。

今月もマルト商事をどうぞよろしくお願い申し上げます。

株式会社マルト商事 代表取締役 戸澤 周一
ホームページ：www.maruto-shoji.co.jp

9月の玉ねぎを使ったおすすめ料理

カリカリ豚バラと玉ねぎのマリネ

まだまだ残暑が厳しい中でも食べやすくカリッと焼いた豚バラ肉が香ばしくてスタミナも満点なレシピ。前菜でも十分おかずにもなる一品です。

<材料 2～3人前>

- | | |
|--------------|--------------|
| ・玉ねぎ 1個 | (A)・麵つゆ 大4 |
| ・豚バラ肉 200g 程 | ・だし醤油 大1 |
| ・塩胡椒 少々 | ・オイスターソース 小1 |
| ・糸唐辛子 適量 | ・酢 小1 |
| | ・ごま油 小1 |

<作り方>

- 1) 玉ねぎを薄切り軽く酢水につけた後水気を絞って大きめのボウルに入れておく。
- 2) フライパンに薄く油を敷き豚バラ肉に塩胡椒少々カリッと焦げ目がつくまで両面焼く。
- 3) (A) を混ぜ合わせる。
- 4) 1) に 2) と (A) を投入し軽くまぜあわせたら完成。盛り付けて糸唐辛子をトッピング。

♪ポイント

 豚バラ肉から十分な油が出るのでフライパンに敷く油はくっつかない程度で大丈夫です。



料理研究家 長尾涼子

「家族がよろこぶごちそう」をコンセプトにレシピ開発。子育て経験を活かした、誰もが作りやすく栄養バランスのよいレシピを得意とする。

